

□議員名：中島好人

1 マイナ保険証について

論点	全国保険医団体連合会の調査で、5月以降マイナ保険証のトラブルがあったと回答したのが、1万2,735医療機関の内8,929医療機関で、「マイナ保険証の有効期限は切れていた」が20%あり、無保険者が発生するのではないか。
回答	被保険者資格申立書を書いて、マイナ保険証と一緒に提示することで、10割の負担ではなく、その人の割合で受診することができるようになっている。

論点	トラブルが発生した8,929医療機関の内6,979医療機関が「現行の保険証で問題解決をした」と回答している。また、トラブルの有無関係なく、「現行保険証を残して欲しい」と「延期」を含め約9割近くあるため、市から国に残すよう求めてはどうか。
回答	国民健康保険の被保険者の対しては、十分な周知徹底また、手続きでフォローをしていくので、現行の保険証の存続を国に申し入れることはしない。

2 南海トラフ地震対策について

論点	地震による建物火災の被害がゼロというのは、どのような想定に基づいてのことか。
回答	県が作成する中で、基を作成しているので市独自として計算したものではない。県の計画を採用した。

論点	火災防止に有益で比較的安価な感震ブレーカーを設置しましょうとホームページに掲載したり、補助を出したりしている自治体も増えているが本市も補助を実施したらどうか。
回答	出前講座の中で、地震が起きたらどうするか火元を確認するとか周知徹底を図っているところであり、感震ブレーカーについてのPRについては今後検討して行く。

3 学校給食の無償化について

論点	学校給食費は3年前に公会計が採用された。現在、小学校と中学校
----	--------------------------------

	でそれぞれの滞納額はどのようになっているか。
回答	小学校で66件、147万8,500円、中学校で31件、72万5,888円となっている。

論点	公会計により、学校の教職員の負担は軽減されたが、市職員の負担が増え、滞納者へ親身な相談ができなくなっているのではないか。
回答	4,000人を超える児童生徒の給食費であり、業務量は増えているので、給食センターに1名担当職員を配置し取り組んでいる。

論点	保護者が亡くなった場合、相続人である子どもに滞納した給食費が引き継がれ、法的手段を取るようになるのか。
回答	最終的には法的な措置を考えなければならないが、御自宅に訪問して納付のお願いをしたり、電話で催促をしたりするなどして、未納が増えないようにし、法的措置をとらないように努力して行きたい。